様式2

総合化学院　総合化学専攻　アセスメント・チェックリスト

総合化学院総合化学専攻の学位授与水準（DP）

DP1	・化学を基盤とした，基礎から応用までを幅広くカバーする科学・工学に関する高度な知識を有するとともに，それを深く理解できる。（修士） ・化学を基盤とした，先端的科学・工学分野を開拓するために求められる幅広く高度な知識を修得し，その知識を応用することができる。（博士）
DP2	・幅広い化学分野で国際的に活躍できるコミュニケーション能力を持っている。（修士） ・化学物質とその生産に関連する研究・開発に必要な国際的研究動向に関する情報を収集し分析できる。（博士）
DP3	・化学物質とその生産に関連する研究・開発に必要な優れた現象観察力と分析力を持っている。（修士） ・自立した研究者に必要となる独創的な研究課題を発見する力，困難な問題解決を可能とする洞察力と柔軟な発想力を備えている。（博士）
DP4	・修士論文研究を通じて課題発見力と研究推進力を修得している。（修士） ・国際的に活躍できる研究者・技術者に必要な高度な研究能力を持っている。（博士）
DP5	・化学分野における高度な専門性を必要とする職業を担うための卓越した能力を修得している。（修士） ・化学物質とその生産に関連する研究・開発に必要なプロジェクト遂行能力とリーダーシップを持っている。（博士）
DP6	・研究者・技術者としての倫理観を修得している。（修士・博士）

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容，質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	随時 （ターム毎）	毎年	（修士）1～2年次 （博士）1～3年次	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し，教員に教育方法改善の指針を与える。	総合化学院
2	修了時調査	3月	毎年	（修士）2年次 （博士）3年次	・カリキュラム，研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	総合化学院
3	修了生調査	9月	3年に1回	修了生	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革の参考とする。	総合化学院
4	企業等調査 （就職先調査）	1～3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改革を検討する。	総合IR室（総合化学院）
5	DPによるカリキュラム点検	随時	3年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング，カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	総合化学院教務委員会委員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	総合化学院
6	成績評価	4月，9月	毎年	（修士）1～2年次 （博士）1～3年次	・成績の点検	履修指導時に点検する	指導教員	成績をもとに履修指導を行う。	総合化学院
7	大学院生調査	随時	1年に1回	（修士）1～2年次 （博士）1～3年次	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革参考とする。	総合IR室
8									